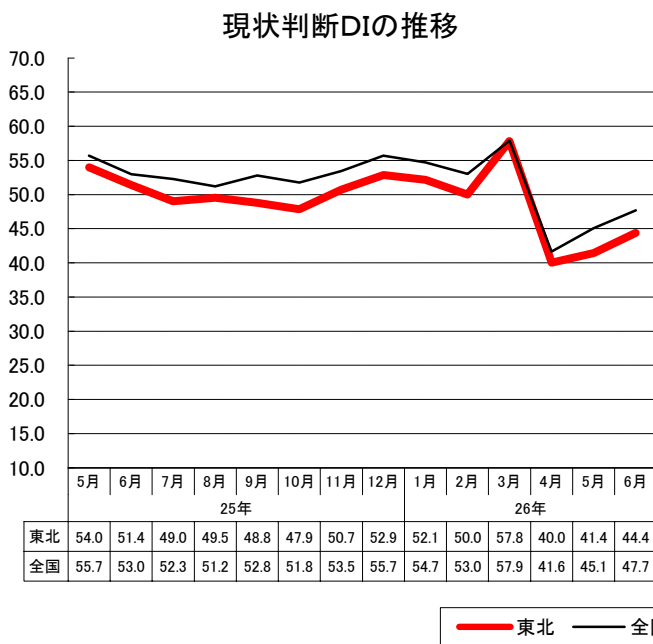


公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成26年6月東北分
 (新潟を含む東北7県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター(会長:高橋宏明・東北電力(株)取締役会長)は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成26年6月東北分(新潟を含む東北7県)」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断(3か月前との比較、方向性)

現状判断DI「44.4」(+3.0)は、景気判断の基準となる50を3か月連続で下回ったものの、2か月連続で前月を上回った。



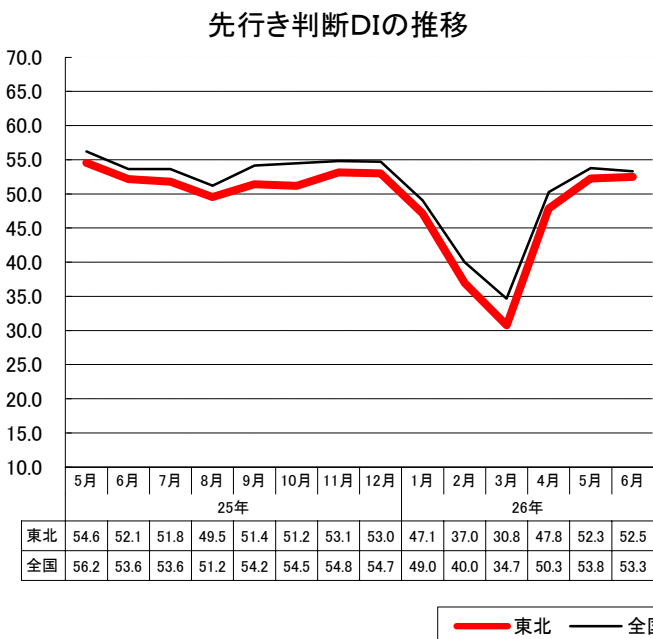
・家計動向…百貨店は引き続き、駆け込み需要の反動があるものの、コンビニ等を中心に、回復がみられる。DIは「43.5」(+5.7)と基準値50を3か月連続で下回ったものの、2か月連続で前月を上回った。

・企業動向…製造業は若干のDIの改善がみられる。一方、非製造業では、金融業等が、消費税増税の影響を受けた取引先の様子を理由に、DIが低下している。DIは「42.9」(▲1.1)と3か月連続で前月を下回り、基準値50を3か月連続で下回った。

・雇用動向…DIは「53.4」(▲6.8)と2か月に前月を下回ったものの、基準値50を18か月連続で上回った。

2. 先行き判断(2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DI「52.5」(+0.2)は、3か月連続で前月を上回り、景気判断の基準となる50を2か月連続で上回った。



・家計動向…コンビニ等の小売関連で、回復がみられる。DIは「52.4」(+0.7)と3か月連続で前月を上回り、基準値50を2か月連続で上回った。

・企業動向…製造業は若干のDIの低下がみられるものの、非製造業では建設業を中心に受注増が期待されている。DIは「53.0」(+0.6)と3か月連続で前月を上回り、基準値50を2か月連続で上回った。

・雇用動向…DIは「52.3」(▲3.4)と4か月に前月を下回ったものの、基準値50を3か月連続で上回った。

<参 考>

■D Iの推移※

(1) 現状判断(方向性) D I

	25年								26年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
東北現状	54.0	51.4	49.0	49.5	48.8	47.9	50.7	52.9	52.1	50.0	57.8	40.0	41.4	44.4
家計動向関連	52.1	51.0	47.6	48.4	47.6	45.4	48.4	49.1	48.3	45.9	55.4	35.9	37.8	43.5
企業動向関連	59.5	51.8	53.0	51.2	50.6	50.6	53.6	60.4	59.5	59.5	65.5	46.4	44.0	42.9
雇用関連(参考)	55.7	53.4	51.1	53.4	53.4	59.1	60.2	63.6	63.6	59.1	59.1	54.5	60.2	53.4

(2) 先行き判断D I

	25年								26年					
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
東北先行き	54.6	52.1	51.8	49.5	51.4	51.2	53.1	53.0	47.1	37.0	30.8	47.8	52.3	52.5
家計動向関連	53.5	50.3	49.7	47.2	50.0	51.0	51.6	52.1	45.0	34.8	29.3	48.1	51.7	52.4
企業動向関連	57.1	57.7	58.5	54.2	54.8	50.0	57.7	54.3	51.2	43.5	31.5	44.0	52.4	53.0
雇用関連(参考)	56.8	53.4	53.4	55.7	54.5	54.5	54.5	56.8	53.4	38.6	38.6	53.4	55.7	52.3

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 26 年 6 月 25 日～30 日

回答者数 210/210 名、回答率 100.0%(全国 1,867/2,050 名、91.1%)

以上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 佐藤(健))

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL : 022-225-1426 FAX : 022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（コンビニ）…たばこの販売量が戻っている影響で単価が上昇し、消費税増税前の水準に戻りつつある。

（高級レストラン）…来客数、客単価共に前年を上回っている。

（出版・印刷・同関連産業）…消費税増税の反動で落ち込んだ受注残高が、今月に入って盛り返してきている。

（輸送用機械器具製造業）…車載関連生産準備品の受注が伸びている。

○「変わらない」

（商店街）…客単価は上昇しているが来客数はやや横ばいとなっている。消費税増税前の駆け込み需要の影響による落ち込みからは回復しつつあるが、3月と比べると若干下回っている状況である。

（カメラ販売店）…低価格商品の動きが良くなってきて販売量は回復傾向にある。しかし、高額商品の動きが鈍く売上の回復がみられない。

（スーパー）…前月同様に平均1品単価が大きく上昇しているが、来客数と買上点数は前年割れが続いている。売上はなんとか前年をクリアしているが、購買動向に顕著な変化は認められない。

（家電量販店）…特にエアコンが消費税増税の影響で大分落ち込んでいたが、前年同月比で同じベースまで伸びてきており回復傾向がみられる。テレビ、パソコンなどは前年同月比90%に届かず今一つである。

（乗用車販売店）…消費税増税前の駆け込み需要の反動により、購入する客がなかなか現れない。

（住関連専門店）…消費税増税の影響は徐々に減少傾向にあるものの、回復の足取りが止まっている。

（観光型旅館）…今月は県外の団体客が目立っている。しかし、基本ベースは、地元の半公共的な団体の総会や、人生の節目、特に高齢者の祝い事の団体が目に付いている。入込数においては前年比マイナス8%である。

（都市型ホテル）…夏に向けて天候も安定しており一般宴会と宿泊は良い傾向にある。しかし、ブライダルは伸び悩んでおり全体的には変わらない。

（旅行代理店）…国内旅行は比較的好調である。ただし、単価の高い海外旅行は前年比を下回っており、不透明な部分が多い。

（通信会社）…一部の企業では収入増の報道もされているが、ほとんどの地場企業では恩恵が受けられていない。客との商談からも好況感を感じるに至らず消費拡大の兆しはみえない。

（食料品製造業）…消費税増税による影響が一段落し、販売量が前年並みに落ち着いてきている。

（人材派遣会社）…就職活動をしている学生の勉強会をやっているが、前年は6月末の時点で2～3割の学生が内定を持っていたが、今年は半数を超える学生が内定を持っている。

（職業安定所）…新規求職申込数は前年同月比よりも減少しているものの、有効求職者数は前年同月比とほぼ変わらない状況が続いている。また、就職者数はやや減少傾向にある。

○「やや悪くなっている」

（百貨店）…3か月前は消費税増税前の駆け込み需要があり、現状はその反動が続いている。ただし、当月に関しては日を追うごとに売上が回復している状況で、当初苦戦が見込まれた化粧品などに回復の動きが出てきている。

（衣料品専門店）…夏物セールを前年より早めに実施したが、来客数はあまり増えず客単価も低下しており非常に厳しい状況である。

（ガソリンスタンド）…原油価格の上昇傾向により燃料油価格が高騰している。その事から客の節約志向が高まり販売量が減少している。

- (ショッピングセンター) …消費税増税後、来客数は前年比で減少傾向にあり予算達成が難しい状況となっている。
- (一般レストラン) …来客数の動きは3か月前と比べると盛り上がりは無い。そこそこ7～8割で推移しておりやや悪くなっている。
- (観光名所) …全般的に人の動きが鈍く、天候が良いにもかかわらず来客数は例年と比較して少ない。
- (農林水産業) …さくらんぼの農協出荷価格が安く推移している。
- (輸送業) …物量が減少しており、石油の価格も上昇している。
- (金融業) …消費税増税前の駆け込み需要の反動減がある。
- (公認会計士) …小売業などは消費税増税の影響からか売上減少、利益減少が多い。建設関係は大きな変動はなく総じて好調な会社が多い。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

- (コンビニ) …前月に比べ客単価、買上点数共に増加しており、消費税増税は織り込み済みの感となっている。また、冷夏予想に微妙な変化が出てきており、気温が高くなり売上が好調になることを期待している。
- (乗用車販売店) …消費税増税後の買い控えは薄れつつある。また、商戦も夏季ボーナスの増額によるボーナス商戦を契機に弾みがつき、秋口あたりから普通の状態になるのではないかと期待している。
- (住関連専門店) …消費税増税後3か月でおおよその消費者は消費税増税を受け入れている。住宅もある程度建っているため、それに入れる耐久消費財や家具も販売量が少しずつ戻るので若干は良くなるとみている。
- (金属工業共同組合) …これまで中断していた中国、韓国など向けの有機ELパネル製造装置関連などの物件が動き出してきている。また、国内向け医療機器関連の案件も増えつつある。

○「変わらない」

- (百貨店) …消費者の慎重な買い方は続いており、当面は現状のまま推移する。
- (スーパー) …相次ぐ競合店のオープンで価格競争が激しさを増しているなか、ガソリンを含む各種原料の原価高による値上げも続いている。客の節約傾向も続いており今後もこのような状態は変わらない。
- (衣料品専門店) …クールビズの浸透により半袖シャツ、スラックスが非常に伸び悩んでおり、今後は天候による影響が多いと懸念している。
- (観光型旅館) …日帰りの団体客が目立っている。また、震災前には届かないが一度離れた客が戻りつつある。
- (通信会社) …値下げや新商品の提供にも客の反応が悪い。このまま攻めの営業を継続してようやく現状維持となる。
- (食料品製造業) …円安の影響で原材料費が上がっているが、値上げによるコスト転換ができず厳しい状況である。
- (建設業) …現在はリフォーム工事の割合が多いが、新築物件の仕事も来ており、今後2～3か月は現在の景気が続くとみている。しかし、これからの物価の上昇が心配である。
- (通信業) …既存顧客の価格に対する厳しい反応には予断を許さないが、ニーズにこたえるための継続した付加価値提案の効果も表れ始めている。
- (飲食料品卸売業) …夏祭りシーズンとなり東北も観光シーズンを迎えるが、例年通りのイベントのみでこれといったビックイベントが見当たらない。観光旅館、ホテルへの出荷が伸び悩むことを危惧している。
- (職業安定所) …4～5月共に有効求人倍率は1.3倍台で推移しており、高止まり傾向である。今後2～3か月は現状のまま推移するとみている。

○「やや悪くなる」

(ガソリンスタンド) …原油価格の高騰が自動車燃料以外にも影響することが想定されており、他業界でも値上げが避けられない状況になると買い控えが増加する。

(都市型ホテル) …個人客の来客数、利用金額共に前年割れが続いて、今後の予約状況も厳しい。

(出版・印刷・同関連産業) …売上が減少する時期であり、大型物件や印刷関連商品でどれだけばん回できるかが鍵である。

(人材派遣会社) …東京、名古屋、大阪からの求人数が減少傾向にある。特に地方から工場への業務請負求人数が減少してきている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上